

総務常任委員会

(12月4日開催)

議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第11号、議案第13号、議案第15号、議案第16号、議案第17号の一部、議案第18号の一部

(原案可決)

△委員会質疑要約▽

*議案第2号について

積み立てる基金は、具体的な金額はどの程度を予定しているのか。

A 月に1〜2万円程度を想定しています。

*議案第4号について

蓮沼出張所の移転は一時的なものか。

A 旧蓮沼庁舎の解体撤去及び(仮称)蓮沼タワー建設工事によるもので、工事中のみの措置となります。工事完了後は蓮沼保健センター内で、出張所業務を行う予定です。

*議案第11号について

消防団女性部の具体的な方向性はどうか。

A 来年の4月を目途に女性部を結成します。年度当初は初任者訓練や救命講習などを受けていただいたり、消防団の式典や行事の運営補助などにもご協力いただく中で、女性消防団員としての活躍の場を充実していく予定です。

*議案第13号について

指定管理にあたり、現地に事務所を置くのか。また、その事務所において地元雇用があるのか。

A 駅の近くに事務所を設けます。また、事業提案の段階で地元雇用を働きかけていますが、さらに働きかけます。

*議案第17号について

(歳出)

ふるさと納税の返礼品は庁内で検討しているのか。

A 現在、企画政策課と経済環境部で検討しています。

業者に委託しない事業は実施できないのか。

A 全国的な競争という厳しい状況の中で、また、シテイセールスの観点からも、委託することによって導入するシステムにより、効率よく実施していけると考えています。

債権回収事業について、補正予算に計上した内容はどうか。

A 債権管理条例の一部改正を受け、平成27年1月1日から条例を施行することに伴い、必要となる事務経費であり、私債権や非強制徴収公債権の督促は裁判所に申し立てる必要があるため、その費用等です。

文教厚生常任委員会

(12月4日開催)

議案第9号、議案第12号、議案第14号、議案第17号の一部、議案第18号の一部、議案第19号、議案第20号

(原案可決)

△委員会質疑要約▽

*議案第14号について

さんぶの森元気館の年度ごとの利用者数と、利用者料金収入はどうか。

A 平成24年度の利用者は16万2千270人、利用者料金収入は、6千902万6千983円、平成25年度の利用者は16万4千460人、利用者料金収入は6千957万1千517円です。

*議案第17号について

うち、市外の利用者はどのくらいか。

A 平成24年度が6万1千484人で37・89%、平成25年度が6万7千67人で40・78%です。

施設器具などの修繕及び更新費用の取

り決めはどうか。

A 修繕費と工事費は、10万円以上のものを、市で負担しています。

さんぶの森元気館の1年間の運営費は、指定管理者委託料が6千900万円、利用者料金と合わせ、約1億4千万円で高額に感じられる。指定管理者の選定は公募によるものか。

A 公募によるもので、運営費も考慮されています。

健康増進施策のプログラムの変更は、指定管理者の選定にも影響があると思うが、プログラム変更の必要性についてどう考えているか。

A プールについては、近隣で同様な民間施設があることを考慮し、子ども向けのプールの教室などは外しています。また、仕様書の中で、週70本以上のプログラム、自主事業の実施について指示をしています。

指定管理者の公募について、株式会社

コナミスポーツ&ライフ以外に、何社応募があったのか。

A 他に1社応募があり、合計2社でした。

*議案第17号について

(歳出)

乳・子宮がん検診事業の見込みについて、昨年度との比較はどうか。

A 乳がん検診の受検者は、当初見込みより112人増の3千12人となる見込みです。子宮がん検診の受検者は、当初見込みより116人増の3千736人となる見込みです。

また、昨年度の受検者数ですが、乳がん検診は3千378人、子宮がん検診は2千670人でした。

乳・子宮がん検診の受検者数が、昨年度より増加している要因は何か。

A 今年度から、対象者への世帯に個別にはがき勧奨を行いました。また、無料クーポン



総務常任委員会の様子